

# 結 果 報 告

大会名	平成28年度第68回日本ハンドボール選手権大会				
競技日	12月24日(土)	試合番号		回戦	準決勝
種別	男子 <b>女子</b>	会場	茨城八王子・ <b>駒沢体育館</b>		
Aチーム			Bチーム		
<b>北國銀行</b>			<b>大阪体育大学</b>		
得点合計	小計		小計	得点合計	
<b>26</b>	11	前半	8	<b>18</b>	
	15	後半	10		
		第1延長(前半)			
		第1延長(後半)			
		第2延長(前半)			
		第2延長(後半)			
		7mTC			

## 【 戦 評 】

記載者氏名

井上 裕太

スローオフ直後、センター横嶋のフェイントから大体大のディフェンスを崩し3番鯨場のサイドシュート、6番石野のカットインで得点し4対1と北國銀行がリードした所で大体大楠本監督はたまらずタイムアウト。

大体大はダブルポストにしてからの展開を試み6番谷、7番佐々木らがロングを打ち込むがこれを北國銀行1番寺田がことごとくはじき返す。負けじと大体大1番馬場もカットイン、7mスロを好セーブする。残り5分を切ったところで、6番谷の連続得点で3点差まで追い上げる。北國銀行8番永田がポストを引っかけ残り1分で退場処分となる、しかしこのチャンスを大体大は活かしきれず、11対8で前半終了のブザーが鳴った。

後半開始直後、北國銀行が数的不利な状況の中、大体大は7番佐々木のロングで1点差まで詰め寄る。15分まで大体大はセットディフェンスで粘り強く守るが、オフェンスでのミスが目立つこれを北國銀行が着実に速攻で決め、5点差をつけた。その後北國銀行8番永田のパワフルなポストプレーなどを止めきることが出来ない。大体大も2番松本のサイドシュートなどで応戦するが26対18で北國銀行が勝利し試合終了となった。インカレ女王大体大の最後まで諦めない姿が感動を呼んだ。